

会 議 録

会 議 の 名 称		深谷市健康づくり推進協議会 第1回会議	
開催日時		平成29年5月30日（金） 午後1時15分開会・午後3時閉会	
開催場所		深谷市保健センター 2階	
議長氏名		照沼 正子（会長）	
出席委員数		22名中19名	
従事者		沢野福祉健康部長、浅田保健センター所長、 野口保健センター所長補佐、加藤保健センター所長補佐、 鳥羽保健センター健康推進係長、吉野保健指導第1係長、 石川保健指導第2係長	
傍聴人数		0名	
会 議 事 項	1 議事		2 会議結果
	第1号	「第2次深谷市健康づくり計画」策定について	承認
	第2号	計画の構成及び今後のスケジュールについて	了承
	第3号	市民意識調査の実施について	了承
	第4号	その他	
会 議 の 経 過 (議事の要旨)		別紙のとおり	
会 議 資 料	資料	深谷市健康づくり推進協議会 平成29年度 第1回会議 次第	
	資料	深谷市健康づくり推進協議会委員名簿	
	資料1	統計等から見る深谷市の概況について	
	資料2	第2次深谷市健康づくり計画策定について	
	資料3	計画の構成について・計画策定スケジュール	
	資料4	市民意識調査の実施について	
	資料4-1～4-3	アンケート調査票（3種）	
資料5	市民意識調査票に関するご意見について		
資料6	深谷市健康づくり推進協議会設置要綱		
会 議 録 の 確 定			
確 定 年 月 日			
平成 29年 6月 22日		議長 照沼 正子（会長）	

別紙

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 (要 旨) ・ 決 定 事 項
議 長	<p>(1)「第2次深谷市健康づくり計画」の策定について</p> <p>特に母子保健計画等、歴史のある3つの大きな計画を一体化するのは大変な取り組みだが、事務局の説明に対してご意見は。</p>
委 員	<p>従来の深谷市の健康づくり計画は、ヘルスプロモーションの視点に沿って、深谷市独自の様々な施策が入っており、よくできている。基本的にはそれを踏襲する形か。それに母子保健計画を加えると考えて良いか。</p>
事 務 局	<p>前回計画の検証をまず行う。例えば前回計画では、基本目標等の期待される効果・性格・指標を挙げ、目標値等も設定しているが、これらの進捗状況・各課の施策の状況等を踏まえて整理する。その上で次期計画はどうか、検証するもの・しないものがあるが、前回計画を踏まえた形で策定する。</p> <p>健康増進計画・食育推進計画は前回計画がベースになるが、母子保健計画は新たに加わるため、記載方法が変わることを想定している。</p>
委 員	<p>わかった。策定方法について、基本的には市の職員の手づくりで策定する計画なのか、業者に委託して策定するのか。</p>
事 務 局	<p>アンケート調査の実施やその評価のまとめで、ジャパン総研に支援をお願いしている。職員・業者で調整しながら素案づくりを進め、次回お示しする。</p>
副 議 長	<p>この協議会の当面の目標は、第2次深谷市健康づくり計画の内容の審議になると思う。</p> <p>資料1の5ページ。深谷市に低出生体重児が多い原因は何か心当たりがあるのか。</p>
事 務 局	<p>時間の関係で探りきれなかったもので、県の協力も得ながら</p>

	<p>検証し、次回委員会に何かお示しできる場合はお伝えする。</p>
<p>議 長</p>	<p>大変重要な部分。県の数値とかけ離れており、無視できない部分なので検証をお願いします。</p>
<p>委 員</p>	<p>前回計画は指標がかなり多い。何をすればいいのかの視点が広がりすぎるので、次期計画では指標を絞り、それを改善するために進めていく形に出来ないか。</p> <p>また県では、健康づくり計画を進めるために、健康を支えるサポーターの養成など人づくりに力を入れているが、市の場合はサポーターでなくても色々な団体を上手に使うのがよい。例えば喫煙なら禁煙・分煙を進める、あるいは減塩を進める上で減塩食について考えるなど、色々な健康づくりの団体と、共通の目標・指標をもってみんなで取り組んでいける計画づくりになるとよい。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>素案作りの際に今の意見を参考にする。</p> <p>また「地域を巻き込んで」は、前回計画の中にも明示されているが、次期計画にも盛り込み、素案の時に提示する。</p> <p>また、この協議会の立場への質問があったが、この協議会は、本計画の素案・構成等について意見を頂いて調整し、パブリックコメントを実施した上で、第3回協議会にて確定するもの。この席で本計画に関することやさらに盛り込むべき内容など皆様の様々な立場でのご意見の集約の場と考えている。今すぐでなくても何か気付いたことがあれば意見をお寄せいただきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>それは今この段階で言うのか、それとも次回か。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>今の説明についての意見は今回で、次回はアンケート結果等を踏まえた素案をお示しするが、その段階でも可能。</p>
<p>議 長</p>	<p>本日の資料をまた帰宅後ご覧になり、お気づきの点があれば直接事務局までご連絡願いたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>資料2の12ページ。例えば9個ある健康増進計画基本目</p>

	<p>標のうち、歯の健康なら歯科など、専門家の意見を聞いて素案を出すのか、事務局の作った素案を出すのか。</p>
事務局	<p>現時点では事務局が作る素案だが、保健センターだけでなく庁内の関係する各課の職員と、策定の協議会や作業部会を開催して進めていく。</p>
委員	<p>では次回に質問・討論が多いと思う。</p>
事務局	<p>そのように設定している。</p>
委員	<p>資料2の10ページ。埼玉県子育て応援行動計画の「子供の育ち」と「子育て」の支援では、深谷市では今までどのような支援を行ってきたのか具体的に教えてほしい。</p>
事務局	<p>現在深谷市で行っている子育て支援は、保健センターだけではなく庁舎内に子ども青少年課や保育課もあるが保健センターで実施しているものでよいか。</p>
委員	<p>保健センターで行っているものに絞ってお願いしたい。</p>
事務局	<p>まず母子手帳を交付する。その際、健康状態や家庭環境等について聞き取る中で、支援の要・不要を判断し、それぞれ支援の必要な方には電話や訪問を通じて出産・育児がスムーズに行くように支援している。</p> <p>また妊娠中、14回分の妊婦健診の助成券を配布し、受診費用を助成している。</p> <p>出産後は「出生連絡票」を返してもらい、保健師・助産師が新生児訪問を全戸に行って、赤ちゃんの体重測定や発達状況の確認、母親の健康状態や育児状況の確認等をしている。</p> <p>生後2ヶ月から予防接種が始まるので、受診票を配布し、個別に医療機関で接種してもらっている。</p> <p>4ヶ月児健診・1歳半健診・3歳児健診の集団検診では、子どもの発育・発達状況の確認・母親の育児状況の確認を行っている。その健診の中で子どもの発育・発達や母親の育児に対して支援が必要な人には地区担当の保健師が電話や面</p>

	<p>接・訪問・適切な支援機関への橋渡しなどを行い、学童期までの間保健センターを中心に健康支援・子育て支援を行っている。</p>
<p>委員</p>	<p>3歳から就学までの期間は長く、発達障害の子は早期発見が必要だが、5歳児健診を深谷市で行うことはないのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>5歳児健診を実施している自治体もあるが、本市は幼稚園や保育園と協力体制が整っている。例えば巡回相談等の形で教育研究所・保育園等の協力も頂き、保健師等も出向いて、気になる子どもの状況を伺って支援している。このような形で、5歳児健診に代わる発達障害の早期発見・支援を行っているので今のところ実施の予定はない。</p>
<p>委員</p>	<p>わかりました。</p>
<p>議長</p>	<p>資料1の4ページ。深谷市で行っている健診等の受診率向上に向けた取り組みが出ているが、特定健診・がん検診と乳幼児の健診は少し異なる。狭山市で起きた3歳児虐待事件の判決が昨日出たが、未受診の子どもへのケースに対する各課の連携がかなり課題になっている。そのような未受診者への取り組みも強化していただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>第2次深谷市健康づくり計画は8カ年計画。だいたい5年を区切りで進めるが、特に食育では国とのズレがあるため、どこかで調整が必要。8年という期間はそこで調整して国の計画に合わせられるのでいいと思う。8年後、次回の計画では、さらにその先を見据えて計画してほしい。</p> <p>資料2の6・7ページ。これまでは周知と実践という形だったが、国の第3次食育推進基本計画では、実践の輪を広げようという形。その輪を広げるための人づくりへの支援も盛り込んでいけるといい。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご意見として承る。</p>
<p>議長</p>	<p>他にご意見がなければ、議題(1)の「第2次深谷市健康</p>

	<p>づくり計画」策定にあたっては、事務局案の通りでよろしいか。</p> <p>⇒異議なし</p> <p>(2) 計画の構成及び今後のスケジュールについて</p>
<p>委 員</p>	<p>資料6。この計画を策定し、最終的には市民の健康づくりを総合的に推進すると、設置要綱の第1条にあるが、策定後の公表や配付先等を教えてほしい。</p> <p>資料3の1ページ。4章の施策の展開で、専門的な人向けなのか一般市民向けなのかで随分異なってくると思う。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>まず一般市民に向けては市のHPにこの計画の全体をお示しする。あとダイジェスト版を作り、公民館等に配付する。それからきちんとした冊子は関係機関を中心とした配付になる。多くの場合はHPでお示しすることになる。</p>
<p>委 員</p>	<p>そのように市民が目にするものなら、わかりやすいことが大事になる。わかりやすければ実際に実行・推進出来る。</p> <p>資料3の1ページ。前回の計画の第3章と第5章を組み合わせた第4章の施策の展開の部分では「分野の区別(案)」の6項目はわかりづらい。前回計画のように世代別・年齢別など細分化しておいた方が、今の自分の立場ならどこを見ればいいのかわかりやすい。推進・実行につながる。逆に、このようにまとめられた趣旨を伺いたい。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>第1次健康増進計画・食育計画の2本をつくった時から考えると、今は食育と健康増進が密接な関係で重複する分野もある。また母子保健は、妊娠期・乳幼児期・学童期・成人期と成長する過程の要で最も健康づくりに母親が関心を向ける時期。健康づくりの重要な機会、事業の中でも食・身体活動・休養・こころ・歯など全ての要素が含まれるので、計画を1つ1つ切るのではなく、それぞれライフステージごとに取り入れて示す方が市民にもわかりやすいと考え、今回この6分野の中に取り込んだ。ただ、今後統計やアンケート、現行計画の評価等を踏まえた上で、ここに他の分野を加える</p>

	<p>・別立てにする方がいいのであれば考える余地はある。 それから母子保健の計画はどれなのかを明確にするために、母という字を付けて母子保健計画の一部だと表示するつもり。</p>
事務局	<p>補足。それぞれのライフステージごとにまとまっている方が見やすい部分もある。今示しているものの他に、例えば妊娠期・乳幼児期は何に気をつければいいか等、食事や健康づくりが全て世代ごとに見られるように整理して、中に組み込む。もしくはダイジェスト版にその様な形で市民がわかりやすい表記にする等の工夫も出来るので、いただいたご意見は今後の構成に役立てたい。</p>
委員	<p>ありがとう。今事務局が言われた通り、世代ごとにこの6つの項目がどれも当てはまるので、市民が自分は50歳だからここを見る、という方がより一層わかりやすいと思うので検討いただけるのはありがたい。</p>
議長	<p>先ほど市民への公表方法は、ダイジェスト版は公民館に、冊子は関連機関にとのことだったが、それ以外に例えばパソコンを使わない人も含めた市民一人一人に知ってもらうには、毎月配る広報に何らかの形でアピールをする等した方がいいのではないか。</p>
事務局	<p>市民に一番周知できるのは市の広報。全てを掲載するのは紙面の関係上無理でも、ある程度抜粋したものや、より伝えたい内容等のみ掲載することは可能。また広報の担当課と調整する。</p>
委員	<p>深谷市には教育研究所があるが、そこと子育て支援がどのように関わり、母親がどう活用すればいいのかが見えてこない。子育て支援の中で問題があった時に、教育研究所がどういう役割をしてどのように実際の支援につながっていくのかのルートがわかるといいと思う。</p>
事務局	<p>現在、教育福祉連携会議が設けられていて、福祉分野の職</p>

<p>委員</p>	<p>員・教育委員会の職員で年に何度か会議を持っている。そこでの連携を強化することと市民にそれを知ってもらおうとパンフレット等の作成もしているところ。その様なパンフレットを通じて皆さんに役割分担やそれぞれの部署がやっていることをお示しできるといい。</p> <p>今日いただいたご意見は、今後会合が開かれた時にも伝えておく。</p> <p>今お話を聞いていて、母子保健が今度新しく入ってくる事がよくわかった。今回計画に盛り込まれるのはとても素晴らしい。助産師は近隣の市町村に新生児訪問の委託事業に伺っているが、深谷市はとても丁寧に業務されているので、それを市民に示していく事はとても大事。</p> <p>一方、助産師が欠けていると思う点では、学校の教育現場で健康についての教育はされていると思うが、是非この計画が思春期の人たちに周知されることを望む。そこで意識しないと痩せ思考のまま妊娠し、低出生体重児が生まれることは色んな調査でもわかっている。健康とはどういうものかを次に来る思春期までにつなげられるように切れ目のない支援で成果が上がるといいと思う。</p>
<p>議長</p>	<p>貴重なご意見だと思うがいかがですか？</p>
<p>事務局</p>	<p>今回庁内の検討委員会の中にも教育委員会が入っている。ご指摘の通り私達も日頃の業務の中で思春期の人に対する指導では、そこでの基礎が出来ておらず母親になる準備が十分整っていないと感じる。今回この3つの計画を一体的にした、食事・健康管理などが交わる部分なので、それをどうすれば推進していけるかを関係課と協議して実現できる計画づくりに努めたい。</p>
<p>委員</p>	<p>教育研究所の話が出たが、民生委員の主任児童委員が各幼稚園に行き、研究所に相談窓口があることを伝えたり、研究所の臨床心理士が直接幼稚園に伺っている。そこで発達のなつまずきに気付いた場合、親の承諾が必要なので、根気強く関わり、説得して足を運んでもらっている。小学校の教育</p>

<p>議 長</p>	<p>相談の場でも、研究所を紹介しているが研究所も相談者が多くパンク寸前。先ほど18歳まででこのシステムも終わるとのことで、その後のケアをどこで行うのか等もこの協議の中で反映されるといいと思う。</p> <p>ありがとうございました。その他はよろしければ、議題（2）の計画の構成及び今後のスケジュールについては事務局案の通り実施する。</p> <p>⇒異議なし</p> <p>（3）市民意識調査の実施について</p>
<p>議 長</p>	<p>具体的な質問はFAXでとのことだが、例えばこのメールアドレスにパソコンで入力して添付する形でもいいか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>はい。空メールを送ってもらえば、そちらへ送ることも可能。もちろんFAX・窓口・郵送等でも承る。</p>
<p>議 長</p>	<p>提出期日も迫っており、また内容も非常に盛り沢山だが、内容確認と共にアンケート回答の所要時間も見ると、色々な世代の人が回答する際の参考になると思う。回答の負担という視点も持ってお答えいただきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>冒頭の減塩の話について。</p> <p>深谷市の人口動態で脳梗塞での死亡が高い。それを国保のデータヘルスで見ると高血圧の人の割合がこの地区は高い。それは、塩分摂取が多いからである。塩分摂取が多いので低塩・減塩を、と食生活改善推進員が住民に対して減塩食事指導等を行っているが成果が上がらない。そこで企業の食堂にアプローチし、塩分制限のヘルシーメニューを呼びかけている。</p> <p>できれば全体平均で2g減らしたいが、関心のない人も含めての数値では困難。そこでナトリウムとカリウムをチェンジして、辛さは変わらないがナトリウム摂取量が減らせるものがないか研究している。</p> <p>現在、この「ナトカリ」にチェンジした味噌を試行錯誤し</p>

議 長	<p>て開発中。パンにも塩は使用されており、こちらは成功した。普通の塩辛さで普通の食事をしただけで2～3割の減塩が出来、この地区の脳梗塞や心筋梗塞を減らせないかと考えている。関心のある人だけではなく、全ての人に対して塩分摂取の制限・減塩ができないかと研究途上である。</p> <p>ありがとう。</p> <p>その他にご意見よろしいか。それではご意見を1週間以内に事務局までよろしく願います。</p>
事 務 局	<p>(4) その他</p> <p>次回会議を11月に予定している。次回の会議では素案へご意見を戴くことになっているので、事前に資料を送る。</p>